

障がい者の消費行動や直面する消費者トラブルの実態は不明瞭な状況

障がい者が自立して生活できる社会の実現に向けても、消費行動及び消費者被害の傾向を探ることが必要

障がい者の消費行動及び消費者被害実態等の把握

徳島県及び岡山県の協力の下、障がい者やその家族・関連施設に対し、アンケート及びヒアリング調査を実施



【意見交換会の様子】



29年度の主な成果

- ・徳島県及び岡山県の協力の下、精神・知的・発達の各障がいのある方々を対象に調査を実施。調査結果について報告書を作成し、公表（30/3/22）
- ・障がいのある方々や、その支援者を対象として、普段の消費行動等に関するアンケート調査を実施
- ・【ポイント】全体的に、買物好きな障がい者が多いが、一方で、消費者トラブルに直面するリスクが比較的大きい。